

決算審査特別委員会

財政状況は良好！

急速な少子高齢化の進展や公共施設の老朽化対策という大きな課題を抱える中であっても、将来負担に配慮した財政規律を維持し、健全な財政状況を堅持していると判断しました。

市の貯金である**財政調整基金**は前年度から13億円増の72億9400万円、**市債残高**は8億2700万円減りました。

財政の弾力性を示す**経常収支比率**は**90.3%**、借金返済額の財政規模に対する割合の**実質公債費率**は**3.4%**、指数が高いほど財源に余裕があるといえる**財政力指数**は**0.833**となり、**将来負担比率**は生じていません。

討 論 令和5年度富士宮市一般会計決算（認第1号）について、賛成（決算認定）と反対（決算不認定）の議員、各々の考え方を本会議で行われた討論内容を要約し、以下のとおり実際の討論順に掲載します。

反対討論



渡辺佳正 議員

（仮称）富士宮市立郷土史博物館の関連経費を計上しない予算だったため、基本計画策定に向けて空白の1年となり、議会の議論は封じられ、市民の理解は進みませんでした。

同事業の見直しを要望する市民の声を無視するかのよう、議会の発言を敵視する市長の政治姿勢は問題です。

また、教育委員会の職員を「私の部下」と呼び、同委員会内部検討事項を外に向けて公言することは、市長の裁量権を超えた越権行為だと考えます。

賛成討論



芦澤秀典 議員

会派「富岳会」、「公明会」、「明和」を代表しての賛成討論です。世界経済が停滞する中、これまでも着実に伸びを示してきたふじのみや寄附金事業が大きな増収となり、素晴らしい結果になったことを高く評価します。

また、教育関係では、大規模な学校工事が計画通り行われました。これからも児童生徒が安全安心に学校に通い、充実した学校生活を送れることを願っております。

今後も市政運営の健全化を維持していただくことを期待します。

賛成討論



稲葉晃司 議員

賛成の理由の一つ目に、反対理由にも挙げられた「（仮称）富士宮市立郷土史博物館事業」が決算書になかったこと。二つ目に須藤市長が地方教育行政の組織及び運営に関する法律に触れているとの指摘ですが、私はギリギリ許される範囲だと考えること。三つ目に市長と議会の関係について、議会を敵視するかのような発言を挙げられていましたが、生活保護費の職員の不適切な取扱いに関して議会に詫びを入れた点を評価して反対理由に反対して、賛成討論とします。

→本会議で採決した結果、賛成19、反対2（議長は採決に加わりません）となり、令和5年度富士宮市一般会計決算（認第1号）を認定しました。